

水系1液型アクリルシリコン・UVハイブリッドエマルジョン

IP軟質塩ビコートSi

耐可塑剤型 塩ビ素地専用塗料

◆環境対応型(エコ)水系塗料◆

低VOC(W1)
F☆☆☆☆(101116)
トルエン・キシレンゼロ配合
鉛・クロムゼロ配合

塩ビ鋼板などの塩ビ素地に対し、 プライマー処理せず、直接塗装が可能です！

IP軟質塩ビコートSiは、外部の塩ビ鋼板など可塑剤が多く含まれる塩ビ素地に対しプライマー処理をせず、直接塗装可能な塩ビ素地専用水系1液型塗料です。

また、水系塗料でありながら外部の塩ビ鋼板などの塩ビ素地はもちろんのこと、鉄部に対しても優れた付着性・耐水性を有します。

さらに、高耐候性シリコン樹脂・超耐候性顔料に加え特殊UV抑制効果(UVハイブリッド)の付与により、優れた耐候性を兼ね備え長期にわたりその性能を保持します。

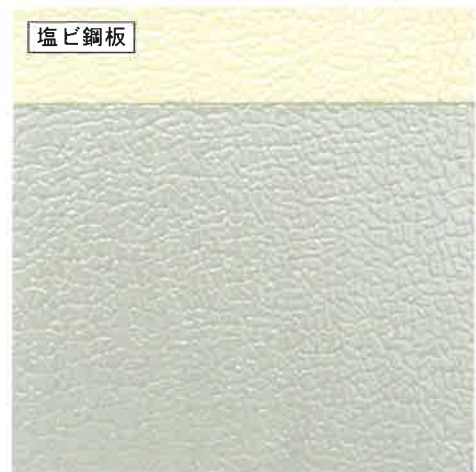
特 長

可塑剤をシャットアウト(ベタツキ解消)

現在、市販されている塗料では可塑剤が多く含まれる塩ビ素地への塗装は、可塑剤の影響を受け、塗膜表面にベタツキが生じたり、塗膜の付着不良・塗料自体の乾燥不良を起こしたりして塗装が不可能とされてきました。

IP軟質塩ビコートSiは、塩ビ素地に対しプライマー処理せず直接塗装する工法でありながら、弊社独自の耐可塑剤ノウハウにより、艶消しはもちろんのこと、特に難しいとされる艶有りにおいても塩ビ素地からの可塑剤の影響を受けず、塗膜表面のベタツキ・塗膜の付着不良・塗料自体の乾燥不良がありません。

また、コーキング処理面においても、可塑剤の影響を受けず、ベタツキ・付着不良・乾燥不良がありません。



IP軟質塩ビコートSi グレー系塗装面

強靱な付着力

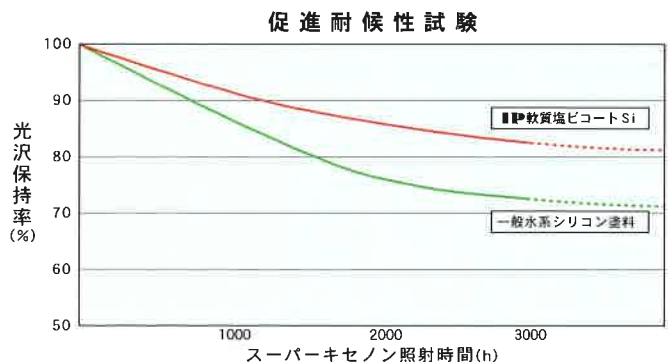
水系塗料でありながら、外部の塩ビ鋼板などの塩ビ素地はもちろんのこと、鉄部に対しても直接塗装が可能な優れた付着性を有します(サビの発生が懸念される場合、またはサビがある場合は3種ケレンし、水性メタルコートサビ止めにて前処理してください)。

優れた耐候性・耐水性

高耐候性シリコン樹脂・超耐候性顔料に加え特殊UV抑制効果(UVハイブリッド)により、紫外線や雨などの影響による塗膜劣化を最小限に抑えます。

促進耐候試験では、スーパーキセノン照射3000時間(自然暴露約8~10年相当)において、光沢保持率80%以上というトップクラスの優れた耐候性を発揮します。

耐水性についても、長期間水に浸漬しても膨れ剥がれがなく、長期にわたり安定した塗膜性能を保持します。



豊富なカラーバリエーション(原色・遮熱色)

IP軟質塩ビコートSiは、艶有りと艶消し(3分艶)の2タイプを用意しています。それぞれの艶に対して豊富な原色(17色)を設定していますので、淡彩色、および濃色はもとより、今まで水系塗料では難しいとされてきたあざやかな色調への幅広い調色が可能です。また、遮熱色(21色)の設定により、夏季において太陽光に含まれる赤外線効率よく反射し、塩ビ鋼板屋根などの温度上昇を抑制します。

艶調整については、調色はもちろんのこと原色・遮熱色においても5分艶への艶調整が可能です。

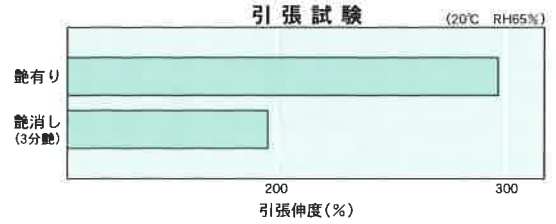
優れたレベリング性

レベリング性に優れていますので、スプレー塗装はもちろんのこと、ローラー・ハケ塗装においてもなめらかな美しい仕上がり感が得られます。また、ローラー塗装において飛散が少なく、作業性に優れます。

柔軟な塗膜

引張試験において塗膜(艶有り)の伸び率約300%、また耐カッピング試験(旧エリクセン試験)において9.5mmという柔軟で強靱な塗膜を形成します。

塩ビ鋼板やビニルクロスなど可塑剤を多く含む微弾性系の塩ビ素地への塗装においても柔軟に追従し、経時による塗膜のワレを軽減します。



安全性

トルエン・キシレンなどの揮発性有機化合物や、鉛・クロムなどの有害物質を一切使用していない水系1液環境対応型エコ塗料ですので、屋内外を問わず安心してご使用いただけます。

色目、および荷姿

製品名	艶	設定色	原色(17色)	遮熱色(21色)	荷姿	
IP軟質塩ビコートSi	艶有り 艶消し(3分艶)	ホワイト	対象製品設定原色 共通色見本 参照	対象製品設定遮熱タイプ 共通色見本 参照	15kg 3.5kg	
			ブラック	レッド		S-1001 S-3011
			アカサビ	スカーレット		S-1002 S-3012
			オーカー	オレンジ		S-1003 S-3013
			ライトグリーン	オレンジイエロー		S-1004 S-3014
			ミドルグリーン	イエロー		S-1005 S-3015
			ダークグリーン	レモンイエロー		S-2006 S-4016
			パープル	スカイブルー		S-2007 S-4017
			ラズベリー	コバルトブルー		S-2008 S-4018
				グランプルー		S-2009 S-4019
						S-2010 S-4020
						S-5021

環境対策

- 低VOCタイプ
 - VOCを標準とした室内塗料分類 (W1)
(エマルジョン塗料VOC対策品)
- 鉛ガイドライン
 - 東京都「鉛ガイドライン」(含有量0.06%以下) ゼロ配合
- 室内濃度測定対象化合物
 - 国土交通省 住宅局 測定対象化合物 (トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼン) ゼロ配合
 - 文部科学省 シックスクール測定対象化合物 (トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン) ゼロ配合
(スチレン・エチルベンゼン)
- ホルムアルデヒド放散等級
 - 国土交通省 建築基準法 (F☆☆☆☆)
(日本塗料工業会 登録番号: I01116)
- 健康リスクに対する建築用塗料の目標基準(日本塗料工業会)

塗料設計条件 (エマルジョン塗料)	目標基準	判定
TVOC(全揮発性有機化合物)	1%以下	適合
芳香族系炭化水素	0.1%以下	適合
アルデヒド類	0.01%以下	適合
重金属(鉛、クロム類)	0.05%以下	適合
発癌性物質 生殖毒性物質 変異原性物質	0.1%以下	適合
感作性物質	0.1%以下	適合

品質性能

試験項目	試験結果		基準
	艶有り	艶消し(3分艶)	
容器中での状態	合格	合格	硬い塊がなく、一様になること
塗装作業性	合格	合格	ハケ、ローラー、吹付け塗装に支障がないこと
乾燥時間	合格	合格	1時間以内であること (20±1℃ RH65%)
塗膜の外観	合格	合格	穴、たるみ、つやむら及び色むらがでないこと
光沢度	78.0%	21.5%	60° 鏡面光沢度
隠蔽率	96.8%	99.0%	95.0%以上
付着性	100/100	100/100	クロスカット試験
	9.5mm	9.5mm	耐カッピング試験 (旧エリクセン試験)
耐候性	合格	合格	白亜化がなく変色の程度が見本品と大差のないこと (スーパーキセノン照射2000時間)
耐水性	合格	合格	水に30日間浸漬し異常がないこと
耐アルカリ性	合格	合格	水酸化カルシウム飽和水溶液に7日間浸せきし、異常がないこと
耐酸性	合格	合格	pH2の硫酸水溶液に1ヶ月間浸漬し、異常がないこと
耐洗浄性	合格	合格	1000回以上の洗浄試験に耐えること

(IP軟質塩ビコートSi ホワイト)



用途

○建築外部の塩ビ素地

塩ビ鋼板(屋根・外壁・破風・戸袋・ドア・シャッターボックスなど)の新規、および塗り替え

○その他、建築内部の塩ビ素地

ピニルクロス^{*}・塩ビフィルム(ダイノックシートなど)の新規、および塗り替え

^{*}機能性壁紙(ファンクレアなどは、ポリエチレン(PE)やポリプロピレン(PP)などで表面コーティングが施されていますので、塗装はお避けください。



仕様書

■標準施工仕様書(塩ビ鋼板の場合)

(20℃ RH65%)

工程	使用材料	希釈率	塗布量	塗装方法	乾燥時間	施工面積
素地調整	・ゴミ、ホコリ、油脂類などの付着物、および劣化した塩ビ素地・旧塗膜は、高圧水洗浄など適切な除去方法を用いて除去物も含め十分に切り除いてください(水洗浄の場合、24時間以上放置し乾燥確認)。 ・塩ビ被覆部の膨れや剥がれについては、カッターなどを用いて切り取り、サビ発生の有無にかかわらずIP水性メタルコートサビ止め ^{*1} にてタッチアップ塗装を行ってください(サビがある場合は3種クレン ^{*2})。					
下塗り	IP軟質塩ビコートSi	3~7% (清水)	0.13~0.15kg/m ²	ハケ ローラー スプレー	2時間以上	下塗り+上塗り
上塗り	IP軟質塩ビコートSi	3~7% (清水)	0.12~0.14kg/m ²		—	50~60m ² /15kg 12~14m ² /3.5kg

^{*1} 清水にて0~5%希釈を行い、1回塗り(塗布量0.15~0.18kg/m²)

^{*2} 活膜を残し、老化部分を除去する方法(工法は手工具を主用してワイヤーブラシを併用する作業)

■施工についての注意事項

- ◆施工前に本製品が用途・要望・現場の状況に的確であることを十分に確認の上、施工を行ってください。ご不明な点についてはお問い合わせください。
- ◆事前に必ず被塗物が塩ビ素地であることを確認してください(塩ビ素地以外への塗装はお避けください)。また、塩ビ素地の中には用途・種類によって表面にポリエチレン(PE)、ポリプロピレン(PP)などで薄くコーティングが施されている場合や、付着防止剤(ハクリ剤)で処理が施されている場合がありますので必ず試験塗りにて付着に問題がないことを確認してください(塗り替えの場合も試験塗りが必要)。
- ◆素地調整は必ず念入りに行ってください(溶剤等の使用はお避けください)。また、素地調整後テープテストなどにより付着物および劣化した塩ビ素地・旧塗膜・除去物がないことを十分に確認してください(素地調整が不十分な場合は、塗膜の付着不良・変色などの原因となります)。
- ◆塗布量については、現場における素地の表面状態などにより異なる場合がありますので、標準施工仕様書の塗布量を基準に調整してください。また、一度に厚塗りをしないでください(必要以上の厚塗りは塗膜のワレなどの原因となります)。
- ◆塗装中・塗装後、および塗料の取り扱い作業時は換気を十分に行ってください。また特に塗装後は、乾燥のための換気を十分に行ってください(換気が不十分な場合は、乾燥が遅れる原因となります)。
- ◆塗装方法により希釈率を調整してください。尚、希釈率が7%を超えますと、タレや色分かれの原因となりますので十分に注意してください。
- ◆他の塗料とは絶対に混ぜないでください。
- ◆建築外部の塩ビ素地への塗装については、素地調整として軽く目荒らしを行ってください。
- ◆塗膜が溶剤・油脂・皮脂などの影響を受ける箇所についてはお問い合わせください。
- ◆各工程前に施工面にホコリ、黄砂などの粉塵が飛来していないことを十分に確認し、次の工程を行ってください(飛来している場合は、除去・水洗いが必要)。
- ◆可動部、および床面など耐摩耗性が要求される箇所、または、塗膜同士が接触する箇所への塗装はお避けください。
- ◆塗装後、約1週間で本来の塗膜性能を発揮しますので、乾燥後すぐに塗面に重量物などを長時間置かないでください。
- ◆衝撃などにより変形がある塩ビ素地への塗装については、特に低温時においては塗膜に強い衝撃を与えないでください(塗膜のワレ・ハガレなどの原因となります)。
- ◆乾燥を十分に確認した後、次の工程を行ってください。特に、冬期・梅雨期の施工は、気温・湿度の影響により乾燥が遅れる場合がありますので、十分注意してください。
- ◆塗装後、4~5時間は降雨・降雪・結露(夜露)など十分に注意してください(塗膜の付着不良、およびフクレ・色ムラの原因となります)。
- ◆降雨が予想される日、気温5℃以下または素地の表面温度5℃以下、湿度85%以上の場合は塗装をお避けください。
- ◆長時間の直射日光や雨ざらしは避け、気温40℃以上、0℃以下の状態に置かないでください。また、開封後はなるべく早めにご使用ください。
- ◆本カタログの記載内容についてご不明な点、または記載内容以外についてはお問い合わせください。

□製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシートをご参照ください。

代理店名



インターナショナルペイント株式会社

本社・工場 〒760-0080 香川県高松市木太町3072番地
TEL 087-833-3525/FAX 087-833-3527
関東支店 〒330-0834 さいたま市大宮区天沼町2-952
TEL 048-644-3528/FAX 048-643-5291
関西支店 〒537-0024 大阪市東成区東小橋3-6-13
TEL 06-6978-6855/FAX 06-6978-6856